

【18 雲仙ロープウェイ Unzen Ropeway】



九州自然歩道(仁田峠～妙見岳)から

雲仙ロープウェイでは、三方の海からそびえ立つ近景の“**南面の雲仙岳**”が眺望できます。本ロープウェイは、雲仙岳の中で4番目の高さを持つ妙見岳にかかっていますが、妙見岳は春にはミヤママキリシマのピンク色、夏には草や木の緑色、秋には紅葉の赤色や黄色、冬には霧氷の白色と、四季折々の色が楽しめます(↑↓)。ロープウェイからは、島原半島を取り巻く有明海と橘湾、さらには大村湾も眺めることができますが、南方へ目を向けると、島原半島先端部・有明海の奥には天草諸島が眺められ、雲仙天草国立公園の“**水陸の大展望**”を楽しむことができます。

ロープウェイから東側～南側に眺められる有明海には、全国一の規模を誇る干潟が広がっていますが、その干潟の泥は、かつての**阿蘇山**の大噴火による噴出物を筑後川や白川などが日々流し込んでいるもので、その泥が外洋に流れ出さないのは、**雲仙岳そびえる島原半島**が有明海の水の出入口を狭めているためです。空気がよく澄んでいる日には、仁田峠駅やロープウェイ内から東に**阿蘇山**も眺望できることがあり、**阿蘇山と雲仙岳**の間の歴史的な**大三角形**(※阿蘇地域のページ参照)を視覚的にイメージすることが可能です。非常に空気が澄んだ日には、霧島連山や桜島の噴煙が望めることもあり、“九州全県から眺められる**雲仙岳**”からの大パノラマを堪能できます。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、雲仙ロープウェイで旅してみませんか？

●雲仙ロープウェイの情報はこちら ⇒ 雲仙ロープウェイ株式会社 <http://unzen-ropeway.com/>



仁田峠駐車場から (妙見岳・平成新山)



霧氷の妙見岳から (天草諸島)



ロープウェイから (平成新山等と阿蘇山)



仁田峠駅から (縦山と対岸の金峰山・阿蘇山)